

# いちご栽培管理 (R5.2.)

(有) 丸 富

1月上旬は比較的好天に恵まれ、干ばつ傾向でしたが、中旬以降、低気圧や強烈な寒波に見舞われ、雪害や日照不足傾向になった。日照不足と連続出蓄でなり疲れや樹勢低下傾向になり、各地でダニが発生した。

## 着色促進

なり疲れや樹勢低下の原因は着果負担が大きいことだから、着色を促進して早く収穫することが大事。日照不足で着色が遅れると、果実が肥大して着果負担が増大する。栄養生長になると果実の着色が鈍る。着色促進に**笑顔 1,000 倍(天地の恵み 500 倍)**と**サンミネーラ 10,000 倍**を葉面散布する。

## 肥大促進

光合成産物で果実が肥大するので、養分の分散やバランスを考慮した電照や温度、施肥の管理を行う。果実の肥大促進に**K-40 250g/10a**と**酸カル 50~100 cc/10a**と**サンミネーラ 50 cc/10a**を1ヶ月に2回、灌水する。

## 病害対策

軟弱徒長して茎葉が混み合うと、通気性が悪くなり、灰色かびなどの病害が増える。午前中(日の出後)の急な温度上昇による結露(湿気)が病害の原因であり、着色不良果(はくろう果など)の要因である。徒長抑制・細胞強化に**酸カル 1,000 倍**と**時を越えた贈り物 2,000 倍**と**サンミネーラ 5,000 倍**を散布する。防除に**時を越えた贈り物 2,000 倍**と**天然ミネラル(又は酸カル)2,000 倍**と**サンミネーラ 10,000 倍**を混用する。

## 発根促進

地温が上がれば、根が動き出し、樹勢が回復する。地温の上昇と共に、根の働きを強化する。発根促進に**天地の恵み 500 cc(発根力 1ℓ)/10a**と**G バランス DF 1 kg/10a**を1ヶ月毎に灌水する。

## 害虫対策

ハウス内の温度が上がると、ダニなど害虫が盛んに繁殖する。事前対応として早めの収穫で樹勢維持を。ネズミ、ダニ、スリップスなどの事前対策に**バイオアクトTS 50~70 cc/10a**を5~7日毎に灌水する。

## 追肥(液肥)

施用量は肥料、土質、樹勢、環境などによって加減する。

プロ液肥	5~7ℓ/10a
時を越えた贈り物(又は酸カル)	100~200 cc/10a
サンミネーラ	50~100 cc/10a
バイオアクトTS	50~70 cc/10a

5~7日毎に灌水する場合  
※状況に応じて加減する

※サンミネーラの代わりにシカアップ<sup>®</sup> 100~150 cc、天然ミネラル 200~300 cc、海藻のエキス 50 g でもよい。

ご注文やお問い合わせは、

有限会社 丸 富 TEL (0942) 65-0123

**FAX0942-65-1091** (24 時間受付)

携帯 090-3328-7603 (富松まで)